

未来の技術を開拓する大学 地域の拠点となる大学 楽しく学べる学園 をめざします。



# 確かな礎から未来へ

Looking Toward the Future from a Solid Foundation

国立大学法人

豊橋技術科学大学は

開学30周年を迎えました。

## 開学30周年記念 学長挨拶

豊橋技術科学大学は、“技術科学”的教育・研究を使命として1976年10月に設立された国立大学です。技術科学とは、技術の背後にある科学を研究し、より高い技術を開拓する学問です。開学して以来、大学院教育に重点を置き、技術に強い関心を持ち、科学を身につけた1万人を超える学生を世に送ってきました。2002年から始まった文部科学省の21世紀COEプログラム2件採択に続き、2007年にはグローバルCOEプログラムにも採択され、国際的に卓越した大学院博士課程を持つ大学として教育・研究の拠点形成を展開しております。

また、教育に関するCOEともいえる文部科学省プログラムGP(グッド・プラクティス)においても2003年から2006年にかけて3件が採択され、高度な実践的教育の実現に向けた取り組みを進めています。2004年の法人化を契機とし、教育・研究を一層進めるため機構整備を進めてまいりましたが、開学30周年を迎えたことを記念し、「確かな礎から未来へ」をテーマに、未来技術の開拓をめざし、次の10年に向けた新しい事業を計画しています。皆様には、事業の趣旨と内容をご理解いただき、事業へのご指導ご鞭撻と募金へのご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学長 横 佳之



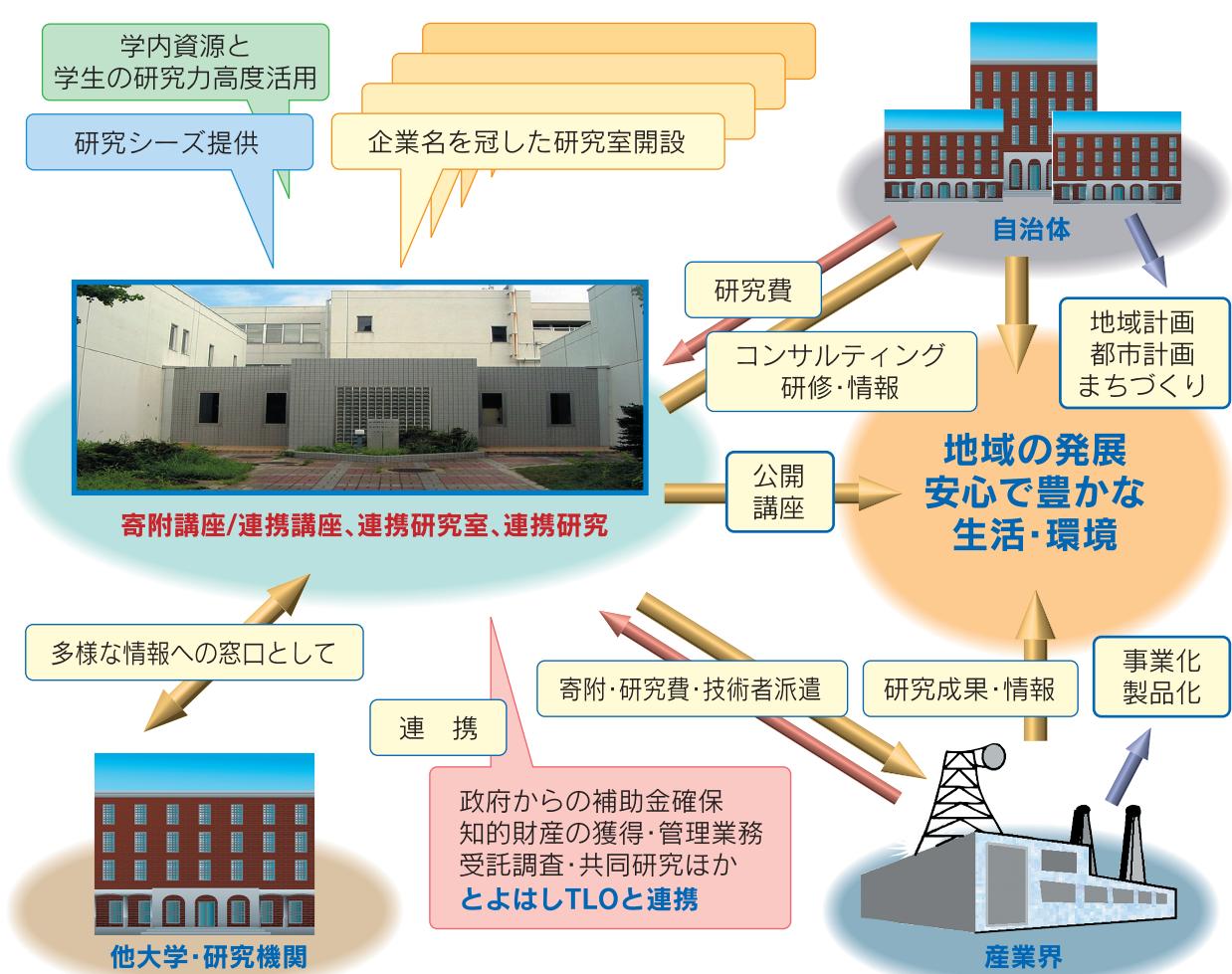
## 記念事業の概要 産官学連携 地域連携 学生支援

豊橋技術科学大学は、開学30周年を記念して、未来の技術開発のために教育研究基盤をさらに充実し、大学の研究力を積極的に活用して、**産業界と連携して開発研究を推進し、自治体・地域の皆様と協働して地域再生・地域文化活動の発展のために貢献します。**工学部の全教育研究組織（機械システム、生産システム、電気・電子、情報、物質、建設、知識情報、エコロジー、人文・社会工学の9系）では多くの研究者（教員・博士後期課程学生）が日夜、研究を進めるとともに、**リサーチセンター**（未来ビーカー、地域協働まちづくり、インテリジェントセンシングシステム、先端フォトニック情報メモリ、メディア科学）、**研究基盤センター**、**未来技術流動研究センター**、**工学教育国際協力研究センター**、**ベンチャービジネスラボラトリ**、**インキュベーション施設**、**情報メディア基盤センター**では具体的な目標を定め、産業界、自治体と連携して先端的で独創的な技術を創生しています。

### 1) 開学30周年記念 寄附講座／連携講座、連携研究室、連携研究（産官学連携の推進） 企業、自治体、地域の皆様と連携し、技術開発と地域づくりを支援し、共同開発します。

- ◆豊橋技術科学大学産学連携推進本部及び名古屋駅前連携拠点の設置、東京オフィス設置計画、産官学連携事業、地域連携事業を推進します。

**大学の研究力（ポテンシャル）を産業・地域・社会に有効活用  
豊橋技術科学大学は企業・自治体との連携による研究開発により、地域の発展に貢献します**



# 開学30周年記念 寄附講座／連携講座、連携研究室、連携研究の募集

「確かな礎から未来へ」のテーマのもと、次の10年に向けた記念事業の柱の一つとして、**先端農業・バイオ**をはじめ、**医工連携**や**モノづくり**などの分野を強化します。このため、開学30周年記念寄附講座／連携講座、連携研究室、連携研究を企業、自治体などから募り、全学を挙げて産官学連携事業を推進します。特に、先端農業・バイオリサーチセンターを設置し、文部科学省の科学技術振興調整費に採択された「東三河IT食農先導士養成拠点の形成」事業に取り組みます。

## 1) 開学30周年記念 寄附講座／連携講座

**本学に無い分野で地域の産業に貢献できる分野または強化すべき分野の講座を開設します。**

- ◆先端農業・バイオリサーチセンター、未来ビーグルリサーチセンター、地域協働まちづくりリサーチセンター、インテリジェントセンシングシステムリサーチセンター、先端フォトニック情報メモリリサーチセンター、メディア科学リサーチセンターを中心にして開発研究を実施します。このために、寄附講座／連携講座を開設し、特任教員を置きます。

## 2) 開学30周年記念 連携研究室

**本学と企業・自治体とが協力し連携研究室を開設します。**

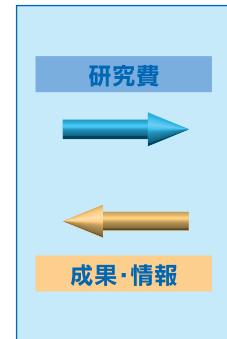
- ◆企業から研究員の派遣があるものまたは大学に研究室を設ける希望のあるものを対象とします。
- ◆本学全研究室で実施します。

## 3) 開学30周年記念 連携研究

**本学教員と企業・自治体との連携研究を実施します。**

- ◆本学全研究室で実施します。
- ◆特に若手教員との連絡研究を推進します。

寄附講座/連携講座、連携研究室、連携研究



## 開学30周年記念募金(寄附金)

### 1) 企業、自治体等の団体から

(1口 5万円、2口以上を希望)

- ◆ 2口以上 感謝状を贈呈いたします。
- ◆ 4口以上 学生交流会館に貴団体のネームプレートを掲示させていただきます。

この寄附金は、法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金です。



ネームプレート(学生交流会館内)

### 2) 個人から

(1口 2000円、5口以上を希望)

- ◆ 5口以上 感謝状を贈呈いたします。
- ◆ 10口以上 学生交流会館にネームプレートを掲示させていただきます。

この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金です。

### 3) 寄附金の使い方

- ◆1) 企業・自治体からの寄附は主として産官学連携及び地域連携に使用いたします。
  - 寄附者からのご希望があれば学生支援にも使用いたします。
- ◆2) 個人からの寄附は主として学生支援に使用いたします。
  - 寄附者からのご希望によって冠奨学金、冠をつけた学生への賞に使用いたします。
  - 寄附者からのご希望があれば産官学連携及び地域連携に使用いたします。

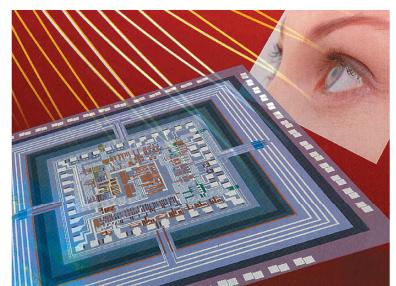
## 豊橋技術科学大学の産官学連携事業の実績

### 1) 21世紀COEとグローバルCOE 国際的にセンシング分野をリードします。

COE (Center of Excellence)とは、「世界最高水準の研究教育拠点」を意味し、こうした拠点を形成するため、2002年より“21世紀COEプログラム”が開始されました。全国立大学の半分が1件も採択されないという激しい競争の中、単科大学であるにもかかわらず本学は、「インテリジェントヒューマンセンシング」と「未来社会の生態恒常性工学」の2拠点が採択されました。2007年からスタートした「グローバルCOEプログラム」は、ポスト「21世紀COEプログラム」で、基本的な考え方を継承し、世界をリードする創造的な人材育成にも重点がおかれていました。情報、電気、電子分野で、全13件(21世紀COE拠点の半分の10拠点と新規3件を採用)と大変厳しい競争の中、東海地区で唯一本学だけが採用されました。テーマは「インテリジェントセンシングのフロンティア」です。



グローバルCOE「インテリジェントセンシングのフロンティア」におけるセンシングアーキテクチャの育成イメージ図



ユビキタス社会を支えるICチップ  
インテリジェントセンシングシステム  
リサーチセンターで開発

### 2) 超高密度情報メモリの開発(文科省融合新興分野研究開発)

#### ナノスケールで超光情報メモリの開発を進めています。

民間の株式会社と共同で、超高密度情報記録分野について、ナノテクノロジー・材料との融合による超光情報メモリの開発を推進しています。

### 3) 科学技術振興調整費(文科省)地域再生人材創出拠点の形成

#### 東三河IT食農先導士養成拠点の形成

IT生産管理・経営管理ができる人材を養成し、東三河の基幹産業である食農産業を活性化します。

### 4) 東三河地域防災研究協議会

#### 安全安心な地域をつくります。

東三河の自治体と連携し、想定する東海・東南海地震に対して災害軽減を目指し、研究を推進します。

### 5) 県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プラン(文科省連携融合事業)

#### 良好な環境を維持し、産業を発展させます。

三遠南信地域の諸課題解決に向けた「地域づくり戦略プラン」研究と、自立した地域づくりに不可欠な「人材育成・意識啓発アクションプログラム」開発に取り組んでいます。

### 6) 地域コンソーシアム(経産省)

#### 企業と共同でIT産業、先端農業、医療産業などの分野の振興に貢献しています。

生体用、生物用、化学用、物理用の多くのスマートセンサーや高機能材料の開発、有害物質の無害化技術の開発など、多様な分野で企業連携事業による開発研究を進め、システムとして実用化しています。

### 7) 特許

大学独自の研究開発だけでなく、企業との共同開発研究成果を特許申請しています。(平成19年度 特許申請件数 66件)

### 8) 共同研究と受託研究

東三河はじめ全国の企業と豊橋技術科学大学の研究者、リサーチセンターとの間で、共同研究および受託研究を積極的に推進しています。製品開発にも繋がっています。

(平成19年度 共同研究受入 183件 受託研究受入 67件)



先端的生産と安心な生活を支える  
ロボット開発

### 技術相談

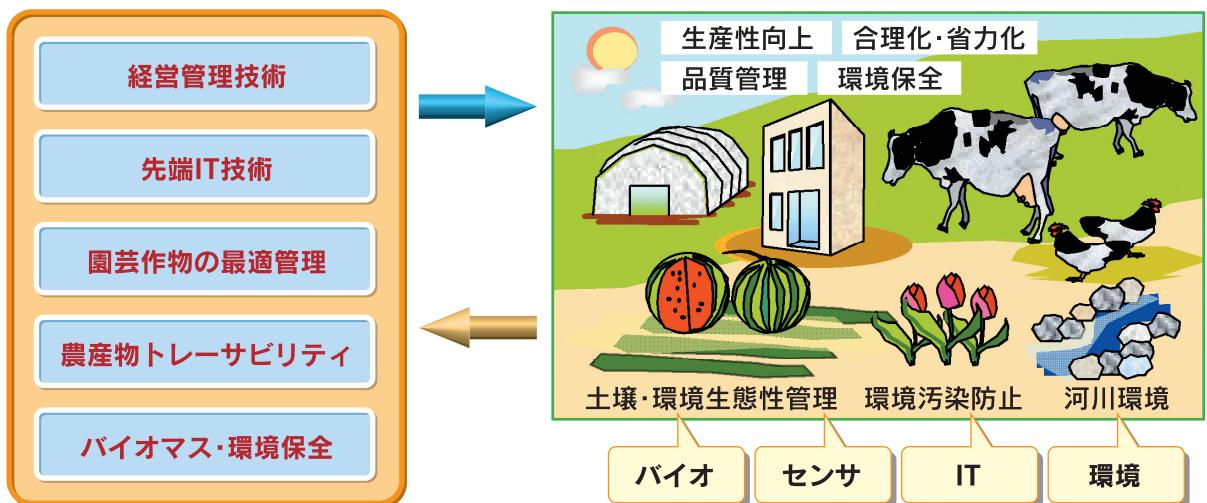
企業の技術開発を支援するため、豊橋技術科学大学は技術相談を受け付けています。企業からの多くの相談は、懇切な相談に基づいて共同研究や受託研究に発展し、また、特許の取得にも発展しています。

## 記念事業の概要 産官学連携 地域連携 学生支援

### 2)地域連携の推進に関する事業

先端農業や自治体などと連携して取り組みます。

- ◆先端農業・バイオリサーチセンターを設置し、豊橋技術科学大学の持つ様々な技術を投入し、先端農業技術の開発と地域発展に貢献します。



このセンターでは、「寄附講座」と「学外機関との共同研究室」を設置して「先端農業・バイオ研究プロジェクト」を立ち上げ、「地域農業関連高校教員が研究プロジェクトに参加」する仕組みをつくり、「農業後継者のための先端農業・バイオ講座」を開設します。

- ◆市民活動、自治体に協力し、「地域文化の振興」、「地域の社会人に対する教育・研修」、「まちづくり活動」を支援します。

開学30周年を記念して、豊橋技術科学大学が市民の皆様の要望をお聞きし、学内の各種教育施設を有効利用して、「開学30周年記念公開講座」や「開学30周年記念教育・研修講座」を開きます。また、自治体と共同して地域の文化やまちづくりを支援する「講座」を開きます。ご意見をお寄せください。



### 3)学生支援に関する事業

- ◆学生交流会館の設置
- ◆大学院生海外実務訓練への支援、博士課程学生への支援
- ◆照明灯などスポーツ施設の設置 ◆学生宿舎の整備

皆様の寄附金を基に、大学独自の資金を加え、奨学制度を設け、経済的に恵まれない優秀な豊橋技術科学大学の学生の勉学生生活を支援し、また、学園生活をより豊かにするため学生交流会館などを設置します。

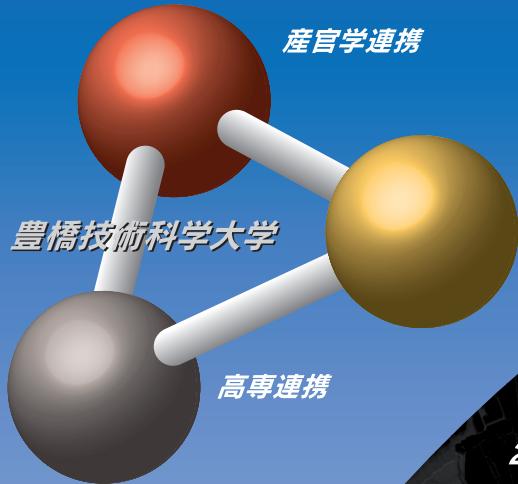
### 4)30周年史の発行

### 5)30周年記念式典、記念講演会、顕彰等の実施

### 6)その他



学生交流会館



産官学連携

開学100年へ

地域連携

豊橋技術科学大学

高専連携

さらに飛翔

2006.12 メディア科学 リサーチセンター

2006. 10 開学30年

設置

先端農業・バイオ リサーチセンター

設置

先端フォトニック情報メモリ リサーチセンター 設置

2005. 4 インテリジェントセンシングシステムリサーチセンター 設置

地域協働まちづくり リサーチセンター 設置

未来環境工コデザイン リサーチセンター 設置

2004. 12 未来ビークル リサーチセンター

設置

2004. 4 国立大学法人 豊橋技術科学大学設立 法人新体制の構築

2004. 3 インキュベーション施設 設置

2002. 9 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリ 設置

2002. 4 留学生センター 設置

2001. 4 工学教育国際協力研究センター 設置

1998. 4 未来技術流動研究センター 設置

1996. 10 開学20年

1995. 4 博士後期課程を再編成 機械・構造システム工学専攻、機能材料工学専攻、電子・情報工学専攻、環境・生命工学専攻設置

1993. 4 エコロジー工学課程 設置

1988. 4 知識情報工学課程 設置

1987. 4 博士後期課程 総合エネルギー工学専攻 設置

1986. 10 開学10年

1986. 4 博士後期課程 材料システム工学専攻 システム情報工学専攻 設置

1980. 4 修士課程を設置、技術開発センター 設置

1978. 4 第1回入学式挙行

1976. 10 豊橋技術科学大学誕生



開学30周年記念事業に関するお問い合わせ先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

国立大学法人 豊橋技術科学大学 開学30周年記念事業推進室(総務課学長オフィス)

電話●0532-44-6539 e-mail●tut30th@office.tut.ac.jp

ホームページ●<http://www.tut.ac.jp/30th/>